

(1) 大正橋は音楽橋

長さ90m幅22m当時は日本一、ベートーベン、歓喜の曲のメロディが欄干に刻まれています。大正4年竣工されました。昭和47年架け替え新橋となりました

(2) 嘉永7年の津波碑

地震の後の津波で大きな犠牲者が出ました。後世の為にと注告の碑が建立され、供養と共に水害の用心をうながしています。

(3) 秀吉の御舟蔵

木津の勘助が幕府の舟の繫船場を作りました。孔雀丸、安宅丸、浪華丸等が繋がれておりました。朝鮮通信使の舟も利用しました。

(4) 遠見番所跡

木津川と尻無川に番所が置かれ、不審船の監視を厳重に運用しました。明治初期迄ありました、役人が常時交替で、見張りしていました

(5) 尻無川の栞紅葉

浪花百景にあり、井原西鶴も謡い広め秋には紅葉が水面に美しく映えてハゼを釣り、どじょう汁を飲んで、一日の遊楽を楽しみました。

(6) 姫島縁起

姫島の伝説、古事記にあり、天の日矛がカルラ姫を追いかけて姫島迄探しにきたが、逢えないまま但馬で生涯を終えた、カルラ姫は姫島に住みつきました。

(7) 仁徳天皇の行幸

仁徳天皇が430年に浪華三島(姫島、大隅島、笠縫島)を行幸されたと記述されています、姫島の女は前掛け姿で糸を紡ぎ良く働いたといわれています。天皇は民のカマドの煙を見て安堵した良い天皇です。

(8) 勘助の碑

八坂神社は中村勘助が勧奨して造営、浪華義人第一号で木津川改修、勘助の御舟蔵作りの功績により五合舟の権利を与えられました。400年を経たギンナンの名木でも有名です。

(9) 近代紡績発祥の地

東洋のマンチェスターと云われ渋沢栄一、藤田伝三郎、松本重四郎が山辺丈男を招いて、日本一の紡績を築きました。15000錘、利益率50%日本紡績の基礎を作りました、現在は東洋紡績です。

(10) 木津川口、今木処刑場

松平忠信時代に大阪三刑場のひとつとしてできました。蘭学医が腐分けして人体図や医学の貢献に寄与しました。その後緒方洪庵の解剖社と続きます。

(11) 難波島、舟作りの町

朝鮮通信使の舟着き場ともなり、造船所が多数並ぶ舟町でした。木津川大湊として古くから三韓文化を受け入れ栄えました、百済橋を渡れば三軒家浦へ通じます。

(12) 大井伊助

日本一の貸家王
3000軒、人口15000人の貸家をもち、家賃収入6万円、社会補償にも貢献して昭和の二宮尊徳と慕われました、賞状、感謝状は400枚を超えています。

(13) 北村六衛門

泉尾新田の開拓者、泉州踞尾の出身自分の土地を歩いて泉州から道頓堀の持ち芝居小屋迄歩いた話は有名です。北村銀行から泉尾土地まで土地の証券化は、日本最初です。

(14) 木材貯木場跡

小林運河に浮かぶ、大阪木材、製材の街250社が立ち並び西長堀から和久新三郎氏がきて盛況を極めました。貯木高、輸出高、生産高ともに日本一の木材の町でした。一日730台の荷馬車が動きました。

(15) ドイツ俘虜収容所

1914年第二次大戦の時青島でドイツ軍俘虜760名が恩加島に収容され、サッカーの事始めや第九の指揮者ハンゼンもいました、現在、区民合唱団フロイデも結成され、その精神を受け継いでいます。

(16) 船町飛行場跡

日本最初の公設飛行場、日本初のエアガール、有名なリンドパークも着地しています。水上飛行機から始まり、アジア各地まで飛び通いました。